

## <2014年度 セレナーデセミナー関連記事>

第1回：「耐震天井の最新情報と設計例」 <2014年7月3日（木）掲載>

### 天井耐震などを講義

2014/7/3 東京版 掲載記事より

構造調査コンサルティング協会（赤木久真会長）は27日、2014年第1回セレナーデセミナーを開いた。同協会の尾崎猛美常務理事と日本耐震天井施工協同組合の小林俊夫氏が講師を担当し、「耐震天井の最新情報と設計例」をテーマに講演した。

小林氏は特定天井の耐震設計の計算ルートの概要について説明し、構造や落下防止の事例を交えて技術基準などを解説。尾崎常務理事は、時刻歴応答解析を計算方法に用いた制震構法の例を挙げ、「応答制御によって、建物の揺れを抑え天井への影響を軽減する効果がある。さらに、震度法などに比べ、安価な設計」と説明した。



天井耐震など

第2回：「Strecの天井耐震改修パンフレットの技術説明」

<2014年10月6日（月）掲載>

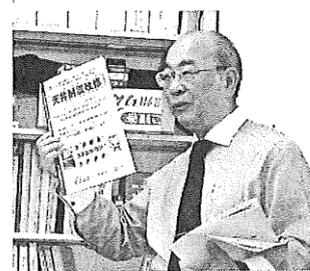
構造調査コンサルティング協会（赤木久真会長）は、天井に関する調査や診断・設計のほか、天井評定の実施などを盛り込

## 天井耐震改修パンフレットで技術説明会

構造調査コンサル協会

んだ「天井耐震改修パンフレット」を発行した。発行に伴い9月26日、会場に向けた天井耐震改修の技術説明会を都内で開いた。

パンフレットは、建築基準法に基づく天井脱落対策の規制について、対象となる特定天井の検証した。パンフレットの視点が重要。パンフレットを日常業務で有効に活用してほしい」と話し



ルートや設計フローなどを解説したほか、既存建築物の天井耐震化をフローチャートで紹介した。会員や関係団体、官公庁に無料で配布する予定。説明会では、同協会の尾崎猛美常務理事「写真」がパンフレットの内容について、応答スペクトル法や時刻歴応答解析法による設計など具

### 第3回：「外付けRCフレームによる耐震補強工法 デザインUフレーム工法」

<2015年2月25日（水）掲載>

## 耐震補強の新工法をテーマにセミナー

2015/2/25 東京版 掲載記事より

構造調査コンサルティング協会（赤木久真会長）は20日、2014年度第3回セミナーを開いた。宇部興産（港区）建設資材カンパニーの原山賢氏＝写真＝が講師を担当し、「外付けRCフレームによる耐震補強工法 デザインUフレーム工法」をテーマに講演した。

冒頭あいさつした尾崎猛美常務理事は「東京都内でも民間建築物の耐震化はまだこれから。多くの工法を学び、業務に生かしてほしい」と話した。

Uフレーム工法は14年1月に日本建築総合試験所（大阪府吹田市）の建築技術性能証明を取得した耐震補強工法。ブレースがなく、高強度ポリマーセメントモルタルを使用しているため、比較的小さい断面で高い補強効果があるという。原山氏は「大型重機が入れない狭小地でも施工できる工法」とし、東京都内での採用を促した。



### 第4回：「天井耐震設計とEーディフェンス実験の紹介」

<2015年3月25日（水）>



構造調査コンサル協  
尾崎氏が講演  
天井パンフレットとEー  
ディフェンス実験  
構造調査コンサルテ  
ィング協会（Stre  
c）は19日、

2014年度第4回セ  
ミナーを開催し、  
同協会の尾崎猛美  
常務理事＝写真＝  
が講師を担当し、  
「Stre  
cの  
天井パンフレットと  
Eー  
ディフェンス実験の  
紹介をテーマに講  
演した。

が14年に発行した天井耐震改修パンフレットをテキストに、建築基準法に基づき天井脱落対策の規制強化対象となる天井と検証ルートをはじめ、調査・設計方法、天井耐震化のフローチャートなどを説明した。

また、防災科学研究所（兵庫県三木市）が運営する兵庫耐震工学研究センター（Eーディフェンス）が発表した「学校施設における大空間建築物の実験研究成果」を紹介し、地震被害後の安全点検項目や耐震天井のコスト削減策などについて解説し、参加者の理解を促した。